

2018年8月3日

## Treasure Data Inc.の株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する Treasure Data Inc.（本社：米国カリフォルニア州、Co-Founder 兼 CEO：芳川裕誠、以下「トレジャーデータ」）の全株式について、ARM Ltd.（本社：英国ケンブリッジ、CEO：Simon Segars、以下「アーム」）に譲渡しましたのでお知らせいたします。

### Treasure Data Inc.について

- ・ 設立 : 2011年12月
- ・ 事業内容 : クラウド型データマネジメントソリューション（DMS）事業
- ・ 所在地 : 米国カリフォルニア州
- ・ Co-Founder 兼 CEO : 芳川 裕誠
- ・ URL : <https://www.treasuredata.com/jp/>

### ARM Ltd について

- ・ 設立 : 1990年
- ・ CEO : Simon Segars（サイモン・シガース）
- ・ 所在地 : 英国 ケンブリッジ
- ・ 事業内容 : マイクロプロセッサ、フィジカル IP 及び関連技術並びにソフトウェアの設計、開発ツールの販売

### 株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井  
東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21階  
電話：03-5218-7202 URL：<http://www.incj.co.jp/>

## 1. 対象事業会社

Treasure Data Inc.

- ・ 設立 : 2011年12月
- ・ 代表者 : 芳川 裕誠
- ・ 所在地 : 米国カリフォルニア州
- ・ 事業内容 : クラウド型データマネジメントソリューション（DMS）事業

## 2. 支援決定概要

- ・ 支援決定金額 : US\$10百万（上限）
- ・ 実投資額 : US\$10百万
- ・ 共同投資家 : SBI インベストメント株式会社、Sierra Ventures、Scale Venture Partners、AME Cloud Ventures、IT-Farm、電通デジタル投資事業有限責任組合、Bill Tai、他
- ・ 株式保有割合 : 非公表
- ・ 支援決定公表日 : 2016年11月
- ・ 支援決定時プレスリリース : <https://www.inci.co.jp/news/assets/1478561026.01.pdf>
- ・ 投資ストラクチャー図 :  
<https://www.inci.co.jp/performance/upload/docs/99b5087b92d2165a3edbca9b6b141874ac536736.pdf>

## 3. 経緯

### (1) 出資の背景

トレジャーデータは、独自のクラウドデータベースを活用したサービス、デジタルマーケティング、またIoT社会の実現に向けたビッグデータの利活用技術を展開するベンチャー企業です。2011年にアメリカ・シリコンバレーにて創業し、現在では米国、日本、韓国に拠点を設けています。同社は、多種多様なデータを極めて短時間で収集・分析し、外部システムへの連携が可能なクラウド型データマネジメントソリューションを提供しています。

現在では、IoT、ビッグデータ、人工知能等をはじめとする産業のデジタル化によって、膨大なデータが生成され、ビッグデータの収集や保管、分析へのニーズが高まっています。

INCJは、トレジャーデータのサービスが低コストで導入しやすく、幅広い企業、特に中小企業において利用が促進され、生産性の向上を期待して2016年11月にUS\$10百万を上限とする出資を決定し、同額の出資を実行しました。

## **(2) 事業の進捗**

トレジャーデータは、データの収集・分析から施策の実行までを一貫して実現するデータプラットフォーム「TREASURE DMP」に加え、さらに進化させた広告やマーケティングなどの各領域を統合する法人向けのサービス「TREASURE CDP」を新たに開発。2018年1月には日本IBM株式会社と協業し、同社が「TREASURE CDP」の販売を開始するなど、データマネジメントサービスにおけるパートナーリングも順調に構築してきました。また、「TREASURE CDP」にAIを活用して見込み顧客を予測するサービスを開始するなど、継続して商品を開発し、導入企業を拡大して多くの顧客から高い評価を得ています。現在は日米を中心に300社以上の顧客を抱え、日本人が中心となり創業したベンチャー企業がグローバルに展開する先進事例となっています。

## **(3) Exitの経緯・内容**

INCJは2016年の出資後、社外取締役を派遣するほか、業務連携先や取引先などの紹介をはじめ、継続的な支援を行ってきました。この度、世界有数の半導体設計企業であるアームより、トレジャーデータの株式取得の申し出がありました。アームはIoT分野への取り組みを強化しており、INCJは、データマネジメントソリューションを提供するトレジャーデータとのシナジー効果が期待されると判断し、保有する全株式をアームに譲渡することにしました。

## **4. 主務大臣（経済産業大臣）の意見**

意見なし。